



大島事業所トピック

No. 308

(旧大島分場トピック)

平成 18 年 1 月 4 日

島しょ農林水産総合センター大島事業所発行
〒 100-0212 東京都大島町波浮港 18
Tel 04992 (4) 0381 Fax 04992 (4) 0383
ホームページ <http://www.fish.metro.tokyo.jp>

1～6月、黒潮はN型流路で経過！

--- 平成 18 年 1～6 月の黒潮流露について ---

平成 17 年 12 月 15、16 日に神奈川県横浜市において、漁海況予報会議が開催され、平成 18 年 1～6 月の海況予測が発表されましたのでお知らせします。

・海況予測 (平成 18 年 1～6 月)

黒潮は期間中、N 型基調で推移するでしょう。房総沖の黒潮流軸は、期間を通して接岸傾向で推移し、潮岬以東では、黒潮の小規模な離接岸変動に伴って、沿岸域には一時的な暖水の波及があるでしょう。伊豆諸島南部海域は継続して黒潮外側域に入るでしょう。

○水温の予測

伊豆諸島北部海域の水温は「やや低め」、但し、暖水波及時には「高め」～「やや高め」、小冷水渦通過時には「低め」～「やや低め」になると予想しました。

・予測の根拠

○予測の根拠

伊豆諸島海域における黒潮流路の蛇行は、ほとんどの場合、九州南東沖に発生する小蛇

行が遠州灘沖まで東進、発達することにより形成されます。現在、九州の沖合には、小蛇行が存在しません。また、今年の実況は現在までのところ、平成 4 年、平成 8 年、平成 14 年に類似しています。平成 4 年、平成 8 年、平成 14 年はいずれも N 型が持続しました。

海況に変化があった場合、あらためて最新の情報を皆様にご報告いたします。なお、海況の変化によって漁模様も大きくかわりますので、今後の「一都三県漁海況速報」にご注意下さい。

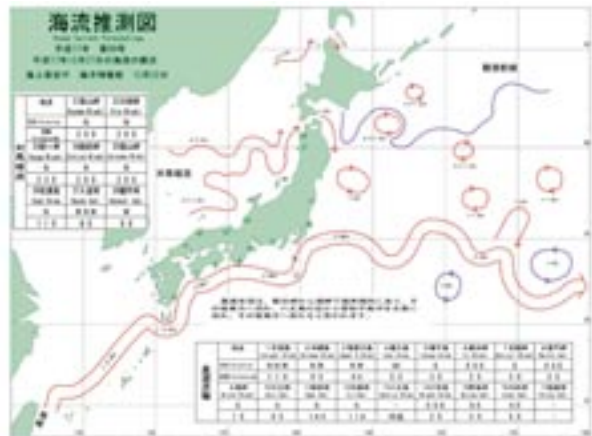


図 1 黒潮流路推測図

注：図は海上保安庁海洋情報部 HP より引用。

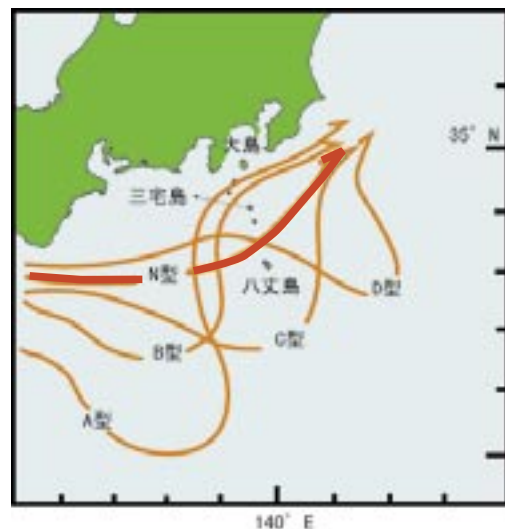


図 2 黒潮流路の代表的なパターン

A 型：遠州灘沖の冷水塊の規模が大きく、長期間持続。

B 型：冷水塊が遠州灘沖に存在、A 型ほど大きくない。

C 型：冷水塊は伊豆諸島の東西にまたがって存在。

D 型：冷水塊が伊豆諸島の東側に存在。

N 型：冷水塊は存在せず、本州に平行に直進。